

平成30年11月歌舞伎公演

平成30年度(第73回)文化庁芸術祭協賛

河竹黙阿弥作 国立劇場文学研究會補綴
通し狂言

名高 大岡越前裁

名奉行、最大の危機！
天下を揺るがす難事件に、
大岡越前が命を賭けて
敢然と立ち向かう。



大岡越前守忠相
中村梅玉



山内伊賀亮
坂東彌十郎



法沢後三天一坊
市川右團次



坂東楽善

中村魁春

11月3日「土・祝」〜26日「月」 午前11時 開演

【観劇料税込】(学生割引あり。障害者の方は2割引)

特別席12500円 1等A席9800円 1等B席6400円
2等A席4900円 2等B席2700円 3等席 1800円

【予約開始】10月6日「土」午前10時

【窓口販売開始】10月7日「日」(チケット売場午前10時、午後6時) ※窓口販売用は別枠でのお取り置きはございません。

【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時〜午後6時) 0570(07)9900 (一部IP電話等) 03(3230)3000

東京・半蔵門



国立劇場

大劇場



坂東秀調 大谷桂三 市川男女蔵 嵐橋三郎 中村歌女之丞 市川右近 坂東彦三郎 中村松江 市川齊入 市村家橋

平成30年11月歌舞伎公演
 平成30年度(第73回)文化庁芸術祭協賛
 明治一五〇年記念

河竹黙阿弥^二作
 国立劇場文芸研究会^二補綴
 通し狂言

名高大同越前裁

国立劇場美術係^二美術

九場幕

序幕 第一場 紀州平沢村お三住居の場
 第二場 紀州加田の浦の場
 二幕目 第一場 美濃長洞常楽院本堂の場
 第二場 大岡邸奥の間の場
 三幕目 第一場 同 無常門の場
 第二場 小石川水戸家奥殿の場
 第三場 南町奉行屋敷内広書院の場
 四幕目 第一場 大岡邸奥の間庭先の場
 五幕目 大岡役宅奥殿の場
 大詰

主な配役

大岡越前守忠相 中村梅玉
 大岡妻小沢 中村魁春
 法後 天一坊 沢村川右團次
 田口千助 中村松右衛門
 吉田三五郎 市川男蔵
 下男大助 東川彦三郎
 池田大助 坂東三右衛門
 大岡一子忠右衛門 市川右近
 お三 中村歌女之丞
 僧天 三村橘三郎
 久保見全四郎 大川桂三郎
 土屋六郎右衛門 大谷圭三郎
 伊賀亮女房おさみ 市川秀三郎
 平石治右衛門 坂東秀調
 名主甚右衛門 市村家彌十郎
 山内伊賀亮 坂東彌十郎
 徳川綱條 坂東彌十郎
 徳川綱條 坂東彌十郎

江戸南町奉行を勤めた大岡越前守忠相は名奉行として庶民の人気を集め、大岡が優れた裁定で様々な事件を解決する物語「大岡政談」が創作され、講談などの恰好の題材となりました。その中の一つが通称「天一坊事件」です。享保十三年(一七二八)に天一坊改行と名乗る男が、八代將軍徳川吉宗のご落胤と称して大勢の浪人を集めたことから捕らえられ、その翌年に獄門に処せられました。史実の事件に大岡は関わっていませんが、「大岡政談」の中で脚色された物語が、初代神田伯山の講釈によって有名になりました。この講釈を基に河竹黙阿弥は「扇音々大岡政談」を書き下ろしました。本年が明治一五〇年に当たることに因み、明治八年(一八七五)初演の本作を取り上げ、稀代の悪計を暴く大岡越前守の苦心に焦点を絞った場面構成で「名高大岡越前裁」と題し、通し狂言として上演します。

紀州平野村感応院の小坊主・法沢は、隣村の老女お三から、亡き孫が実は八代將軍徳川吉宗の落胤だという話を聞き、偶然にもその孫と自らの生年月日が同じだったことから、悪心を抱きます。法沢は、お三を殺して証拠の墨付と短刀を奪い、師匠の感応院も毒殺してその罪を下男久助に擦り付け、姿をくらまします。

將軍のご落胤になりますまして美濃国常楽院に現れた法沢は、元関白家の家来・山内伊賀亮に出会い、朝廷や武家の礼式に詳しい伊賀亮を味方に引き入れることに成功します。法沢は、一味に加わった住職・天忠の機転で過去を塗り替え、天一坊と名を改めます。

江戸で老中の調べを受けて誠のご落胤と決まった天一坊に対し、大岡越前守だけは納得せず、再吟味を願いますが、却って謹慎を申し渡されます。大岡は池田大助が家来の力を借りて秘かに屋敷を抜け出し、水戸藩主・徳川綱條に助力を求めます。

大岡はようやく再吟味に漕ぎつけましたが、伊賀亮が巧みな弁舌で大岡の鋭い追及をかわします。大岡は、將軍と天一坊の親子対面の実現を約束し、十日の猶予を得ます。

猶予期間中に家来を紀州へ調査に向かわせた大岡。しかし、一向に報告が入らず、猶予の刻限を目前に控えた大岡は妻小沢や嫡子忠右衛門とともに覚悟を決め、切腹しようとしています。最早最期かというところへ、家来が紀州より戻り、天一坊の騙りを暴く確信を得た大岡は、天一坊一味と再び対峙します。

難事件に敢然と立ち向かう大岡越前守忠相を梅玉が初役で勤めるほか、楽善の徳川綱條、魁春の大岡妻小沢、彌十郎の山内伊賀亮、右團次の法沢後二天一坊など、充実した配役でご覧いただけます。天下の大岡裁きにご期待ください。

11月3日[土・祝]~26日[月] 午前11時開演 (午後3時10分終演予定)

■観劇料(税込)

特別席 12,500円 1等A席 9,800円 1等B席 6,400円 2等A席 4,900円 2等B席 2,700円 3等席 1,800円
 学生 8,800円 学生 6,900円 学生 4,500円 学生 3,400円 学生 1,900円 学生 1,300円

※3等席に限り、予約開始初日は、お一人様1ステージ2枚までのご購入に限らせていただきます。
 ※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
 ※出演者などの変更の場合はご了承ください。

■予約開始 10月6日[土] 午前10時~

【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時) 0570(07)9900 03(3230)3000 (一部IP電話等)

【インターネット】

パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>
 スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>



●プレイガイド
 チケットぴあ 0570(02)9999 <http://pia.jp/>
 e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

■窓口販売開始 10月7日[日] (チケット売場 午前10時~午後6時) *窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。



- 至日比谷 至向谷・新宿 至九段下
- 地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩5分
 有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
 - 都バス 都03(晴海埠頭一銀座四丁目-四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
 宿75(新宿駅西口-河田町-四谷駅前-三宅坂)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
 - 劇場バス 終演時に運行(東京・新宿・新橋・渋谷方面行き)(有料)
 - 駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

国立劇場託児室 月・水・土・日・祝日に開設

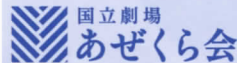
ご利用には、事前のご予約が必要です。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

料金 [0~1歳]2,000円/[2~12歳]1,000円

ご予約・お問合せ イベント託児・マザーズ <http://www.mothers-inc.co.jp/>
 ☎0120-788-222 (受付時間)平日午前10時~12時、午後1時~5時



東京・半蔵門
 〒102-8656 東京都千代田区準町4-1
 ☎03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>



秋の入会キャンペーン中! ▶▶▶ 9月1日~11月30日まで
 チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載!
 詳しくはあぜくら会事務局 ☎03-3264-0555 (平日午前10時~午後5時)またはHPまで

研修生募集

歌舞伎俳優・歌舞伎音楽(竹本・鳴物・長唄) (お問い合わせ) 国立劇場養成課 TEL 03(3265)7105